

困り事を抱える家庭への支援

食材配達を通じた関係構築

アウトリーチ型支援を拡大

竹村 雅夫

(民主・無所属クラブ)

【質問】 これまで学校が困難を抱えた子どもを支援する際に、家庭の問題に立ち入ることが難しいという課題があった。今回、コロナ禍のもと、コミュニティソーシャルワーカー(以下CSWという)が食材の訪問配達を行ったことは、家庭の孤立を防ぐために有効なアウトリーチ型支援であると考えるが、実態について聞きたい。

【答弁】 本事業は教育委員会からの依頼により、給食が開始されるまでの間、食の支援を希望する家庭に対し、CSWが食材を配達した。本事業を通じ、学校がCSWの存在や役割を改めて認識する機会となり、学校からCSWに直接相談するなど、新たな関係構築につながった。

【質問】 今後、何らかの形でこのようなアウトリーチ型支援を検討してほしいが、市の見解を聞きたい。

【答弁】 本市としても、支援する側から積極的に働きかけることの必要性を認識している。今後、様々な場面を相談支援のきっかけにし、また、多様な機関との新たな関係性構築の機会と捉え、さらなるアウトリーチ型支援につなげていきたい。

【質問】 南北自由通路の拡幅詳細設計を1年延期したい。

甘粕 和彦

(ふじさわ湘風会)

【質問】 南北自由通路拡幅は令和4年度から詳細設計に着手する



イメージ図

南北自由通路拡幅は令和4年度から詳細設計に着手する

南北自由通路拡幅整備事業については、今年度内の基本設計の完了に向けて、藤沢市、JR東日本、小田急電鉄の三者で取り組んでいる。しかし、コロナ禍により財源の確保が不透明な状況にある。

【質問】 詳細設計の着手に当たっては、事前に財政負担軽減の検討とともに、事業費及びスケジュールの精査などについて、協議、調整を行う期間が必要であると考えられている。

【答弁】 事業の進捗としては、北口交通広場再整備工事は8月末に完成した。東西地下通路の再整備工事は、当初どおり令和3年度内の完成を目指している。また、にぎわい創出に向けたエリアマネジメントも動き出し始めている。

【質問】 独自の海岸モデル海水浴場の発展へ

山口 政哉

(市民クラブ藤沢)

【質問】 今夏は海水浴場が設置されなかったものの、多くの海水浴客が予想され、海難事故や海の無秩序化などが懸念された。対策として、藤沢市独自に「夏期海岸モデル2020」が策定されたが、その経過及び内容を聞きたい。

【答弁】 県から、海水浴場等における感染防止対策に関するガイドラインが提示され、それを受けて市内の海水浴場開設者から市長に対して、海水浴場の開設を断念するとの報告を受けた。海



関係者のパートナーシップが海岸を守る

安全な海岸を維持するよう努めた。

【質問】 策定に関する評価と来年度以降の海水浴場の在り方について聞きたい。

【答弁】 マルチパートナーシップを体現し、携わった全ての方がオール藤沢で連携したことは大きな成果であり、海への愛着の強さを改めて感じた。

来年度以降も、誰もが安心して楽しむことができ、国内屈指の海水浴場のさらなる発展に向けて、各団体とも緊密に連携していく。

【質問】 市民サービスの向上

【答弁】 市民サービスの低下に憂慮している。藤沢聖苑

【質問】 市民サービスの低下に憂慮している。藤沢聖苑

【答弁】 市民サービスの低下に憂慮している。藤沢聖苑

国民健康保険料 持続可能な制度とする 負担割合見直しと公費投入を

土屋 俊則

(日本共産党藤沢市議会議員団)

【質問】 低所得世帯の国民健康保険料を引き下げ、国民健康保険料を70対30にするべきと考え、市の見解を聞きたい。

【答弁】 国民健康保険料における応能応益割合については、平成30年2月定例会に

【質問】 高すぎる保険料を引き下げ、国民健康保険の構造的問題を解決するためには、公費を投入するよう国に要求すべきと考え、市の見解を聞きたい。

【答弁】 国民健康保険制度が構造的な問題を抱えている

【質問】 国民健康保険料に

【答弁】 国民健康保険料に

【質問】 交代制勤務の検証

井上 裕介

(市民クラブ藤沢)

【質問】 新型コロナウイルス感染症拡大への対応として交代制勤務を導入したが、そのことで業務が滞り、時間外勤務などが増えてしまっ

【答弁】 交代制勤務は、リス

【質問】 コロナの影響が長引

【答弁】 コロナの影響が長引

【質問】 デジタル市役所

【答弁】 デジタル市役所

【質問】 デジタル市役所

【質問】 デジタル市役所



デジタル市役所の実現としてスマートフォン決済を導入する